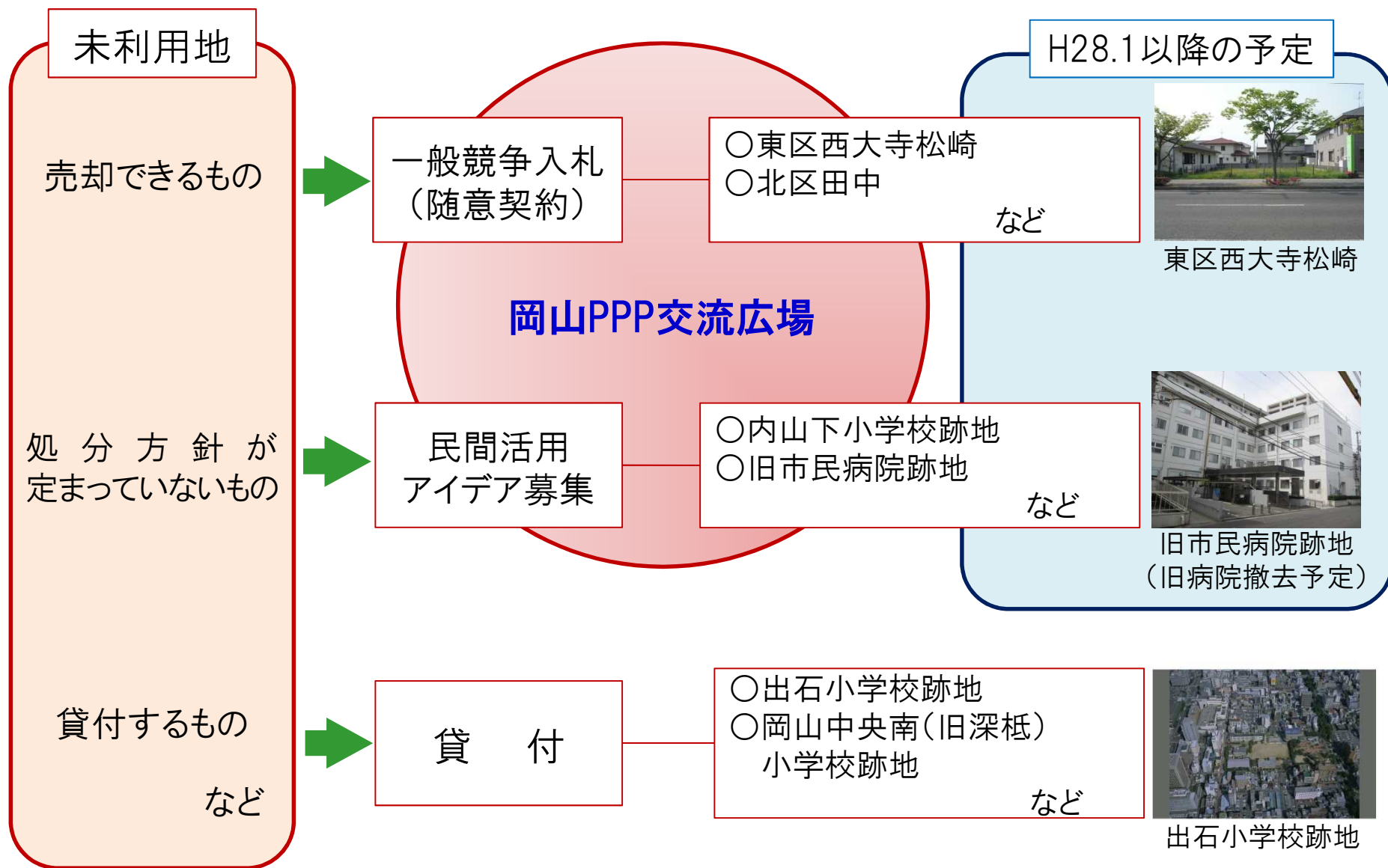


岡山PPP交流広場

第2回交流広場意見交換会の整理について

岡山市財産活用マネジメント推進課

未利用地の区分



第2回交流広場でいただいたご意見

1 市の体制・意識

ご意見

- ・ PPP/PFIの庁内理解を深めるべき。
- ・ 職員の意識が低い。
- ・ 新しい事業、イベント等を提案すると抵抗感が強い。
- ・ 導入可能性調査でVFMが出るのであれば採用するという基準を設けるべき。
- ・ できない理由を探す体質を考えるべき。
- ・ PPP/PFIのワンストップの部署を設けてほしい。



対応策

- 「岡山市公共施設等マネジメント推進本部」等も活用し、情報の共有を図るとともに、職員のスキルアップを目指します。
 - 職員の意識改革に向け、外部講師による研修等を検討します。
 - 内閣府及び総務省からの「多様なPPP/PFI手法導入を優先的に検討するための指針について」(平成27年12月17日付)に基づき平成28年度末までに優先的検討規程を策定し、職員のPPP/PFI導入のガイドラインとして活用します。
-

第2回交流広場でいただいたご意見

2 民間からの提案

ご意見

- ・提案者に対するインセンティブをどうするか先に議論すべき。
- ・インセンティブを用意しておくことが望まれる。
- ・意欲をもって提案しても見返りが無い。
- ・行政の目的が何かを示してほしい。
- ・資産ごとに特性は異なるため「コスト」・「機能」・「環境等」、何を重視すればよいかという情報は明示していたほうがよい提案ができる可能性が高まる。
- ・情報内容が乏しい。
- ・公有財産の情報については、名称・住所の列挙だけでなく、市の要望が具体的に明示されていることが理想。



対応策

- 契約のあり方を引き続き研究していきます。
 - この交流広場において具体的な案件についての意見交換ができるよう全庁関係のデータを整理していきます。
-

第2回交流広場でいただいたご意見

3 官民の対話

ご意見

- ・行政はもっと対話の機会を設けてほしい。
- ・公共側の意図と、民間側の提案の間には必ず意識のずれが存在する。このズレをできるだけ縮めるための意見交換の場は必要である。
- ・ディスカッションの場は必要であるが、民間企業どうしが居合わせた場では腹を割った話し合いは難しい。
- ・川上の段階では「広場」のような対話も機能するだろう。しかし、提案の前段階では個別対応が必要になってくる。
- ・ある程度個別の話も必要。
- ・対話の機会を増やし、その中で意識のすり合わせ、またリッチな情報を提供してほしい。



対応策

- PPP交流広場を窓口とし公民連携を推進します。
- 具体的な案件となる前のざっくりした話と、そこから進んだ少し詳細な具体的なところ（公募要件等）と2段階で意見交換できるようなスキームを検討します。

ご清聴ありがとうございました。



〒700-8544

岡山市北区大供一丁目1番1号

岡山市財政局財産活用マネジメント推進課

TEL 086(803)1150

FAX 086(803)1760